

研究実施のお知らせ

2021年4月24日 ver.1.2

研究課題名

食行動を介して生活習慣病に影響を及ぼす遺伝子多型に関する研究

研究の対象となる方

2006年5月から2018年11月の間に島根県出雲市、雲南市、邑南町、隠岐の島町の市町村健診を受診された方のうち、「生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究」への参加同意をされた方。

研究の目的・意義

高齢化が急激に進行する中山間地域で高齢者の健康を保つことが重要な課題となっています。特に高齢化率が30%を超える島根県では、率先してこの課題に取り組む必要があり、島根大学地域包括ケア教育研究センターではこの課題解決のため積極的に取り組んでいます。

生活習慣病の予防は高齢者の健康を維持する上で最も重要な要素の1つです。生活習慣病の発症、進展には多くの環境因子の遺伝因子の相互作用が重要な役割を果たすことが知られています。近年では、食行動を介して生活習慣病に影響を及ぼしている可能性がある遺伝子が見つかってきており、味覚（味蕾）に影響をする遺伝子や中枢神経で影響を及ぼしている遺伝子が食欲、嗜好も含め食行動に影響を及ぼしている可能性があります。そこで、本研究では、遺伝子多型、食行動、生活習慣病の関係を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

私どもは、10年以上にわたり地域住民健診を利用したコホート調査を行っており、現在、島根大学地域包括ケア教育研究センターとして活動しています。本研究では、これまでに収集されているデータ（年齢、性別、体格、生活習慣、血液検査、疾患調査）とDNA検体を用い、食行動と遺伝子の関係とこれらの生活習慣病への影響を評価・検討を行います。

本研究は、島根大学医学部医の倫理委員会の承認を受け、文部科学省及び厚生労働省が制定した「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省が制定した「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に従って、匿名化した調査データを利用します。そのため、本研究について口頭による説明・同意等、インフォームドコンセントの手続きは省略いたします。個人情報の取

り扱いに関しては、島根大学地域包括ケア教育研究センターで既に匿名されているデータを使用します。データは、研究結果を公表してから少なくとも5年間保管します。その後、データの入った光ディスクは切断、粉碎など物理的に破壊し、廃棄します。

研究の期間

2021年5月28日～2026年3月31日

研究組織

この研究は島根大学人間科学部、同医学部が行います。

研究責任者（研究で利用する試料（検体）・情報の管理責任者）：

島根大学人間科学部 山崎雅之

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：山崎雅之

島根大学人間科学部

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

電話 0852-32-9058 FAX 0852-32-9058